



鉄建 NEWS

令和4年5月31日発行 第330号



を振り返って

社内報編

総務部・佐藤一二美

平成3年5月28日

第1号「KOZAI NETWORK (仮称)」として社内報が創刊されました。進藤前社長が他社の社内報を見て、「わが社にも社内報があったらなあ〜」と思ったのが始まりです。当時はパソコンも普及されておらず、手書きで切り抜いたイラストをシルクスクリーンに貼りつけたA3の原稿用紙。もちろん白黒。

平成8年1月31日

第8号にワープロによる社内報が登場していますが、編集後記に「ワープロでの作成はとても大変だったので来月からまた手書きに戻させていただきます」との文字が。

平成10年2月28日

第75号から、パソコンによる社内報が発行されます。カラーのイラスト、飾り文字、カラー写真など、色がついて鮮やかな誌面へと変貌していきました。

平成17年4月1日

社名が十勝鋼材㈱から㈱鉄建へと変更。社内報のタイトルも「IRON HEART TEKKEN てっけんにうす」に変更(平成17年4月19日発行第151号より)。

平成19年7月23日

第156号より「鉄建NEWS」として発行、現在に至る。この社内報発前2年間位は毎月の発行が出来ず、この年の3月に入社した竹田さんともう1人が経理に配属になってから、毎月発行する事が出来るようになりました。

社内報の作成工程一つとってもデジタル化が進んでいる事を感じます。また休刊した時期もありましたが、32年続けられていることに素晴らしさを感じます。人が変わり、時代が変わっても変わらない「鉄建イムズ」を社内報に見ることが出来ます。

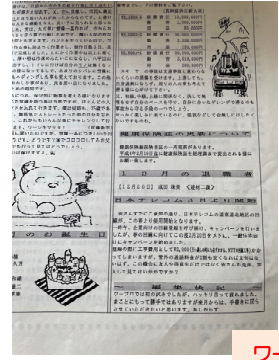
覚えていないと思いますが、進藤専務も平成15年(11才)に原稿を寄稿していただいております。



シルクスクリーンの社内報

印刷前

印刷後



ワープロの社内報



鉄建 NEWS

~最近鉄建で起こった
ちょっとした出来事をお届けします~



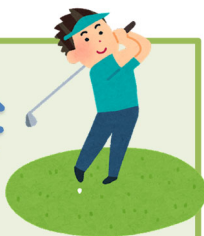
10月からの義務化に向け
アルコールチェッカーが
導入されました!



公式のユニフォーム
です!
鉄建の顔として
安全大会などに
着用して参加させて
いただきます!

作業服が統一されました!

ゴルフ同好会



4/24 に札内川ゴルフ場で開催された鉄建ゴルフ同好会のコンペに参加しました。私は今シーズン初ゴルフだったので打ちっぱなしで振りこみ、準備万端のつもりで参加しましたが終わってみればとても悲惨なスコアでした…。

堀田社長・山本部長と同じ組で回り、お二方の圧倒的な力の差を見せつけられてしまい、まだクラブを握って2年目とはいえ既に挫折しかけているところです(笑)

今回のゴルフで特に印象的だったのは、堀田社長と自分が同じバンカーに入れてしまったときにバンカー対決を申し込み対決したことです。結果は堀田社長の完璧なショットを決められ案の定自分が大敗をしましたが、次また機会があればもっと上達してから挑みたいと思います。

今はまだOB祭りの初心者ですが「帯広のタイガーウッズ」になれるようにたくさん練習を頑張りたいです。

浅川 隆人



第17回 社員紹介

☆部署・名前

札幌支店 吉原 昌範

☆特技

特になし(敢えて言えばスケート)

☆最近ハマっていること

自慢は出来ませんが、ハマっているのはウイスキーかな。特にバーボンウイスキー。高いものから安いものまで今までで15種類くらい試しています。風味の違いはもちろんアルコール度数の違い等々まだまだ種類があるので、健康に気を付けて試していきたいと思います。



☆部署・名前

建材部 岩崎 大介

☆特技

スポーツ(ゴルフ以外)

☆好きなもの・こと

9年前に北海道に移住してきてからずっと続いている趣味が、スノーボードです。冬場は毎週山籠もりです。夏はロードバイクに乗ってツーリング、冬はスノーボードをしていましたが、数年前にロードバイクを手放してしまいました……。2021-22シーズンにはウェアを新調したので、来シーズンはブーツと板を新調する予定です！すでに2022-23シーズンが楽しみです！



☆部署・名前

帯広鋼材センター 永田 飛鳥

☆特技

写真

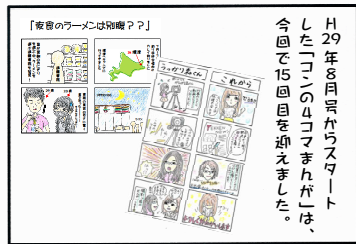
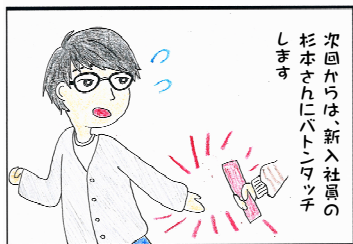
☆最近ハマっていること

去年カメラ仲間と一緒に雌阿寒岳に登ったことをきっかけに登山にハマりました。山にカメラを持って行って山岳写真を撮ったり、ナイトハイキングで星やご来光の写真を撮っているときがたまに楽しくて。今年はテント泊や、冬山装備も揃えつつ徐々に冬山にも挑戦したいと思っています。



コンの四コマ漫画

「世代交代」



編集後記

秋蒔き小麦の緑が無機質な畑に色を添え始めて来ました。初夏を告げるカッコウの鳴き声も聞こえ始め、北海道の短い夏がすぐそこまで来ています。

新型コロナウイルスが発生してからの2年間は行事が行えなく、社員の交流の場が失われてしまいました。この間に入社された方々もいます。「コロナと共存しながらの生活にはなるか」と思いますが、今年こそは、行事が行えることを期待しています。 佐藤